



特集

私が“この場所”に 決めた理由

募集から就農・定着までステージに応じてサポート
地域に根差した**JA**ならではの**新規就農支援** “島”特集!

経営者としてののはじめの一步は ソリマチの農業簿記

独立や新規就農、はじめての経営「ドキドキ、ワクワク」
夢にあふれた担い手のみなさんを、ソリマチは応援しています



経営が見える化し、正しく申告することも
経営者の大切な仕事。ソリマチの農業簿記なら、
はじめての方でも**農業所得専用の決算書**を
かんたんに作成できます。

法令改正時にも迅速対応！**収入保険制度***や**消費税改正**も
ソリマチと一緒にならずとあんしんです。

農業簿記10

※「収入保険制度」とは、政府が平成30年秋からの加入申請受付を予定している新しい保険制度です。
自然災害や価格低下による収益減少を広い品目で補てんされるのが特徴です。



新規就農者の方に農業簿記10を特別価格でご提供!

■**キャンペーン期間:**2018年5月1日~2019年3月31日

■**対象者:**①青年等就農計画書を市町村に提出し、認定を受けた
「認定新規就農者」であること(認定されてから3年以内)

②農業簿記10の未購入者であること

キャンペーン価格

定価 ~~¥60,000~~

¥30,000

(税抜価格)

**50%
OFF**

キャンペーンについての詳細は、下記お問合せ先までお気軽にご連絡ください

 ソリマチ株式会社 www.sorimachi.co.jp TEL:03-5475-5301 FAX:03-5475-5353

■東京本社 〒141-0022 東京都品川区東五反田3-18-6ソリマチ第8ビル 営業時間 9:00~17:30(土日祝日・および弊社指定日を除く)
□新潟本社 □札幌ソリマチ □盛岡ソリマチ □さいたまソリマチ □名古屋ソリマチ □大阪ソリマチ □広島ソリマチ □熊本ソリマチ

- 02 募集から就農・定着までステージに応じてサポート
地域に根差したJAならではの新規就農支援 **“島”特集!** 全国農業協同組合中央会
- 04 コラム 農園歳時記 第31回 老人閑居せずして不惑を為す 中村 颯治

05 特集 私が“この場所”に決めた理由

- 06 農業 東京での生活を捨て、新規就農! 移住で叶えたかった「地域貢献」の夢
岩手県一関市 千葉 健司さん **表紙**
- 08 林業 人の魅力、と`会社の雰囲気`の良さ、に「ここで働きたい」と心が一気に傾いた
福井県池田町 吉田 瑛さん
- 10 漁業 自分にしか出来ない真珠を作る! そんな可能性が移住の原動力
愛媛県宇和島市 千葉 陽亮さん
-
- 12 コラム 農業経営を志す人へ ~農業経営の発展過程と経営管理を考える~
ステップ4 法人経営(法人化一よりよい経営・生活のための手段一) 高田 武
- 16 I・J・U ターン農林漁業就業相談窓口

広告

- ソリマチ株式会社
- 13 日本農業技術検定のご案内
- 14 福島県/岩手県一関市
- 15 一般社団法人 徳島県農業会議/公益社団法人 新潟県農林公社
/公益財団法人 いしかわ農業総合支援機構
公益社団法人 大分県農業農村振興公社
株式会社 日本政策金融公庫

iju info (イジュウ インフォ)

●配布場所

都道府県農業会議、青年農業者等育成センター、林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター、ハローワーク、ジョブカフェ、農林漁業関係学校、図書館、東京都内の駅の一部など全国4,000カ所

IJU

検索

雑誌オンライン

検索



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

募集から就農・定着までステージに応じてサポート 地域に根差したJAならではの新規就農支援 “島”特集!



JAは新規就農されるみなさんをトータルでサポートします!

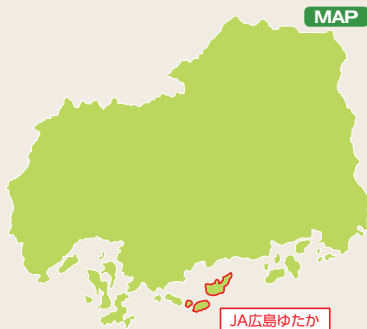
JAグループが進める「みんなのよい食プロジェクト」キャラクターの笑味(えみ)ちゃん。©みんなのよい食プロジェクト

JA...「農業協同組合」の英語表記「Japan Agricultural Cooperatives」の頭文字を組み合わせたニックネーム。

地域の農家が協力し合い、農産物の販売や資材の共同購入など幅広い活動に取り組むJA(農協)が、各地で新規就農者の育成に力を入れている。実家が農家ではない場合、「農業を始めたい」と思っても、何が必要で、どのような手順を踏めばいいのか分からないという人も多いはず。

JAの就農支援なら、農業者の組織が農地や資材の確保、栽培技術など生産から販売までトータルで支援・相談に乗ってくれるとあって、注目度が高まっている。とはいえ、すぐに一人前になれるほど、農業は甘くないことも事実だ。就農への熱い思いに応えてくれるJAの取り組みと、努力を重ねて独立就農した先輩たちの声を聴いた。

↓ JA 広島ゆたか・大長選果場



↑ JA広島ゆたか



↑ 大長レモン

広島県 JA 広島ゆたか

瀬戸内海の3島を中心に構成されるJA広島ゆたかの管内は、「大長レモン」などで知られる、国内最大のレモン産地だ。JA広島ゆたかは、行政などの関係機関と連携しながら、新規就農支援を推し進めている。新規就農希望者は、JAの推薦を受けた後に2年間の研修を受ける。取り組みの充実度は数字に表れており、ここ5年で10人以上が新規就農、ここ10年間の新規就農者の定着率はなんと驚きの100%だ。実績の背景には、2年間の研修の間に、独立後に必要となる圃場や空き家探しをサポートしてくれるなどの、地域が一体となった支援体制がある。地域の若手柑橘農家で結成した組織があるなど、就農者同士の交流が盛んな点もJA広島ゆたかの魅力のひとつである。

広島ゆたか農業協同組合

〒734-0301 広島県呉市豊町大長 5915-8
☎0823-66-2011
<http://www.ja-h-yutaka.or.jp/>

就農者へのインタビュー

支援を受けて地域で独立就農

重松亨さん 38歳
農地 70a
作物 レモン



↑ 重松さん。圃地は雄大な瀬戸内海を臨む

JA広島ゆたかの新規就農支援を受けた後、独立就農した重松さん。独立後は、日々試行錯誤の連続だという。

「農業はやってみないと分からないことが多いですね。たとえば、同じ圃地で栽培するのでも、風向きや日当たりなどによって出来が変わる。分からないことばかりなので、毎日必死にやっています。独立就農後も、JAの方は気にかけてくれて、資材などの相談に乗ってくれるので心強いです。」

地域の方からの声が、大きなやりがいになっている。「重松さんが来てくれてよかった」と言われたのは嬉しかったですね。整備された圃地は古くから代々受け継がれてきたもの。先輩方のおかげで今こうして農業ができていくと実感します。受け継がれてきた圃地を守っていくということが、私の大きなモチベーションになっていますね。」

自分が支援を受けたように、新規就農者をサポートできる存在になりたい。

「JAや県などの関係機関、そして先輩農家の方々が長年守ってこられた地域の農業の継承に、自分も貢献したいです。新規就農を希望する方が学べるような場を自分で作れば、とも思っています。先輩方のおかげで今があるので、「つながる農業」を意識して、今後の地域の農業に役立てるよう、頑張っていきたいです。」

山口県 JA山口大島

瀬戸内海で3番目に大きな面積を有し、ミカン栽培の深い歴史を持つ周防大島を管轄するJA山口大島。生産者の高齢化と耕作放棄地の増加を解決するため、町とJAが連携して新規就農支援に取り組んでいる。平成29年にはJA出資型法人「周防大島ファーム株式会社」を設立。ファームで園地を保有し、新規就農希望者のための実践的な研修の場を提供している。ファームの研修生は、園地の管理を任せられ、主体的に作業に取り組む。わからないことがあればJA担当者や先輩農家はその都度相談に乗ってくれるので安心。教科書だけでは分からないことの多い農業だが、JA山口大島では実践の中で技術と知識を身につけていくことが出来るのが大きな特長だ。

山口大島農業協同組合

〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀 4723

☎0820-72-0100

http://www.ja-oshima.jp/

研修生へのインタビュー

MAP



JA山口大島



↑ JA 山口大島本所

↓ ミカン畑の圃場



就農を目指す研修生の声

研修生 藤本忠さん 35歳
中元悠さん 30歳

主な作物 ミカン



↑ 研修生の藤本さん(右)と中元さん(左)

研修生の藤本さんは、平成29年に研修を開始した。2年目の今年は、ファームの圃場の管理をメインで任されている。

「研修とはいえど、自立して作業をやらせてもらえるのが大きいです。2年目の今年は、『ここがだめだったから、今年はこうやろう』と、去年の経験を振り返りながら毎日取り組んでいます。」

平成30年に研修を開始した中元さんは、日々、周囲の方々の支援に助けられていると話す。

「本格的な農業の経験がなかった自分にとって、JAの方や先輩農家の皆さんが指導を下さる環境は本当にありがたいです。作業効率化の指導を下さったり、将来の独立就農に向けた圃場探しのアドバイスも頂ける。私は結婚しているのですが、子育てや生活の相談にも乗って下さり、助かっています。」

歴史ある大島みかんを守りたい。

「周囲の方々とお話をすると、大島のミカン栽培の歴史の深さを実感します。大島は景色も良く、作業をしてもとても気持ち良い。私たちはまだ移住してきたばかりですが、この伝統あるミカン栽培の風景を守りたいと強く思っています。」



JAグループ 新規就農支援

検索

あなたの近くで きっと見つかる！ 各JAの新規就農支援

JAグループのホームページでは、全国地図や都道府県名から、各地のJAおよび新規就農支援情報が検索できる。コンテンツは農産物の販売ランキングや研修の種類、募集情報、就農支援策など、役立つ情報が満載だ。気になる地域の情報を集めて、就農への第一歩を踏み出そう。

<https://agri.ja-group.jp/support/start>



「ファームを大きくすることができれば、新規就農者も増えていくかもしれません。研修ではありますが、しっかりとファームで収穫を行い、いずれば独立して自身の圃場を持ち、地域の生産量の維持・発展に貢献できるようなれば嬉しいですね。」

(中元さん)



↑ 大島みかん

老人閑居せずして 不惑を為す

中村 顕治

【なかむら・けんじ】昭和22年山口県生まれ。33歳で築50年の農家跡に移住。現在は千葉県八街市在住。典型的な多品種少量栽培を実践。チャボを庭に放任飼育する。ブログ「食うために生きる一脱サラ百姓日記」<http://blogs.yahoo.co.jp/tamakenjijibaba>



去年、古希の記念に市民ロードレースを走った話を書いた。今年も走った。タイムは三分落ちて五十八分。このトシになると体力記憶力は確実に低下するなあ。何かを跨ぐ時、上げたつもりの方がちやんと上がっておらず引つ掛かる。さつきまで使っていた道具が見つからない...

一日の始まりはランニングかサイクリング。どっちも始めて五十年。最近新しい自転車とマラソンシューズ三足を買った。気分を一新、モチベーションを高める。そのため時々エイヤツと有り金をはたく。老人に限らず避けるべきは日々の活動形態がマンネリ化することだ。骨と筋肉は精神との関わりが深い。「それが人間の心を作る」とも考える僕はあえて無理する。新しい自転車。ギヤは二十七段変速。高校時代に記録した時速五十キロに今挑戦している。



去年は太陽光発電と露天風呂の設置に奮闘した。今年は茶室の建築である。幅三メートル、長さ四メートル。作業の難関は高さだった。単なる茶室ではない。温室ミカンの実験も兼ねる。横一列に植えてあるミカン、その一本を内部に取り込む。柱を十本打ち込み、横木を当て、それを足場に高さ四メートルの位置



ここで重要な役割を果たすは腹筋とバランス感覚、そう認識する大仕事だった。

ビニールを張り、一部は透明プラスチック板をはめ込み、完成まで一か月余。効果は劇的。ミカンはたちまち葉を出し、蕾をつけた。成長過程は露地より四十日早かった。完成後、我が仕事を試すかの如く憎らしい強風が吹いた。その後も数回、風速三十メートル近い風が吹き、茶室は少し傾いた。でもまあ倒れはしまし：悲観を捨て、樂觀に身を任せる。これも老人に、いや若者にだつて肝要な事だろう。

畑 仕事の合間、ここでお茶する。花が満開の時には頭上から甘いミカンの香りが降った。激しい雨の日は読書だ。今読んでいるのはサイ・モンゴメリー著『愛しのオクトパス』。タコは頭が良い、愛情も豊か、そういつた本で、ふるさと祝島で少年時代、タコが石を積み上げ巣を作る生態を知っていた僕でも著者の細

まで登る。三角の屋根は地上で組み立てた。不安定な足場でその大きな三角形を担ぐ。高所はあまり苦にしないが、さすがに危険を感じた。密な観察に教えられることが多く感動する内容だ。しかし茶室で読書なんて滅多にない事。我が暮らしは日々奔走。毎日の作業項目は五十ほどある。ポットに種をまく、水やりする、定植する。堆肥を運ぶ、草を取る、土寄せする。鶏への給餌・給水、ヒヨコが生まれればその世話。築四十年のボロ家の屋根や壁も直し、下水工事もある。顧客への発送作業がある。そばで僕を毎日見ている人は不思議がる。よく疲れないわね、たまには昼寝しようなんて思わないの？ ふふつ、疲れないわけじゃない。骨も筋肉もガチガチ。それをほぐす方法？ 昨日と同じ作業をすることさ。疲れた骨と筋肉は疲労の上塗りにコロッと騙され、よく働く。

小 人閑居して不善を為す。これを老人閑居せずして不惑を為すと言ひ換えたい。老いも若きも人間には常に惑いがつきもの。人間には胃袋ならぬ「ココロ袋」というものがある。それを常に満杯にしたい人は願う。何かと便利な今の時代、つい手近な、言ってみればジャンクフードで胃袋を満たすみたいにココロ袋を満杯にする懸念がある。これを阻止する方法はないか。忙しく生きることだ。ルーチンワークをちゃんとこなしてから時々は甘ん人參をぶら下げる。自分



を馬に見立てて鞭を入れ、人參めがけて走らせる。僕の場合は何かを作る作業が人參だ。大工仕事をしていると不思議なくらい視野が狭くなる。ここで言う「視野」とは世事とか感いだ。すなわち視野が狭いと感わずにすむ。これが活字になる頃、僕は七時まで働いているだろう。畑から上がる。茶室に灯りをともし。今日一日の肉体疲労がココロ袋の中にもく納まる。茶室の電気は昨年苦心惨憺して作った太陽光発電だ。光が電気に変じる不思議。静けさと不惑が満ちるこの空間。

私が“この場所”に決めた理由

移住して農林漁業を仕事にしたいと思っても、いざ実行に移すとなるとためらってしまう人は多い。見知らぬ土地で新たな生活をスタートさせるのは、とても勇気が要ることだ。

それでも、移住を実現させた先輩方は、“新たな場所”に大きな魅力を感じて勇気ある決断を下したはず。「自然環境が良かったから」「行政の支援制度が整っていたから」「子育てに適した環境だったから」…移住先を選択した理由は人それぞれだ。今回紹介する3名も、移住先を決定した理由は三者三様。3名の現在の暮らしを参考に、あなたも“新たな場所”での生活を想像してみてはいかがだろうか。

agriculture

岩手県一関市
千葉 健司さん



forestry

福井県池田町
吉田 瑛さん



aquaculture

愛媛県宇和島市
千葉 陽亮さん



私がこの場所に決めた理由

東京での生活を捨て、新規就農！ 移住で叶えたかった「地域貢献」の夢



岩手県一関市 千葉健司さん（36歳） 農業歴・1年

「ちはけんじ」東京都出身。移住するまでは、30年以上東京都内で生活。現在は岩手県一関市でピーマンを栽培する。



就農フェアや体験会に何度も参加
事前に情報を集めてギャップを解消

「東京を離れて農業をしようと言ったら、周りはとても驚いていましたね」と振り返って語るのは、東京都から岩手県一関市に移住し、独立就農を果たした千葉健司さん。千葉さんは東京で生まれ、以来30年以上ずっと都内で生活。前職はビル会社に勤務するなど、農業とは全くの無縁だった。移住を考え始めたきっかけは、30代に入った頃、一関市に居住していた祖父が亡くなったことだった。

「祖父が亡くなって、空き家ができたんです。ただ、自分はほとんど一関に行つたことはなかったし、知り合いもいない。農業をやろうと考えても、自分には知識も経験もない。ただ、『今とは違う暮らしはどうなんだろう』と想像して、少しずつ情報を集め始めました。」

そこから千葉さんは移住についての下調

べを開始。都内で開かれる就農フェアや一関市が主催する農業体験会などに参加した。一関市はイベントが豊富で、体験会では先輩農家の人たちと話せる機会も多くあった。そうした中で、初期費用はいくら必要なのか、一関の生活に馴染めるのか、など気になる点を確かめた後、移住を決意した。

移住を決めた千葉さんに対して、周囲からは心配の声も多かったという。

「『定年してからではだめなのか?』とか、色々言われました。ただ、やるからにはとことんやりたかったし、若ければ失敗しても何とかなるかなど。そして何より、一関に数度出向いて先輩農家の人たちなどと接していくうちに、自分もこの場所”で農業をしたいと思うようになりました。歴史ある一関の農業を受け継いで地域に貢献していくことに、大きな意義を感じたんです。移住先を知るために事前に時間を割いたおかげで、今のところは生活にギャップをあまり感じていないですね。」



支援者の声

行動の早さには驚かされます



移住して新規就農される方の場合、周囲との関係に悩む方もまれにいらっしゃいます。その点、千葉さんはご自身で積極的に周囲とコミュニケーションを取ろうとされているので、安心です。今後の目標も色々と考えられているようなので、出来る限りサポートをしていきたいと思えます。

一関市役所
農村定住・就農支援員
佐藤 学 さん

岩手県一関市の就農支援

農業体験や、先輩農家と話せる機会を設ける「いちのせき農業チャレンジモニター体験会」など、就農を考えている人向けの支援が充実しています。(本誌 p.14 参照)

一関市役所農林部農政課
TEL: 0191-21-8421



↑ 農業機械の実演の様子。

晴らしさを再確認しています。虫はまだ苦手なんですけどね(笑)。作業の帰り道に見る、夕陽に照らされる北上川の景色なんか最高ですよ。北上川では水上バイクもできるし、石蔵山は運が良ければ雲海が望める。祖父の空き家には今は住

んでいないですが、リフォームして近いうちに農家民宿を始めようと計画しているんです。県外の方が自然に触れる機会を作り、希望者には農業も体験してもらおう。それで一関の自然を好きになってくれる人や就農者が増えたら最高です。まだ移住したばかりですが、歴史あるこの町の自然を受け継いでいきたいいなと思っています。」

移住という道を選び、30代にして新たなスタートを踏み出した千葉さん。慣れない作業にも日々楽しみを感じながら、「地域貢献」という大きな目標に向かって、今日も汗を流している。



↑ 空き家。リフォームをして農家民宿とするのが目標。

周囲とのコミュニケーションを大切に心に抱く大きな目標

移住を決めた千葉さんだったが、就農の準備から現在に至るまで、周囲の人たちにとっても支えられたという。栽培を行っているハウスは、就農前の農業体験会で出会った先輩農家の方が紹介してくれた。分からないことばかりの農作業だが、悩んだ時には周囲に相談できる環境がある。

「設備や機械にどうお金を使えばいいのか、効率良く作業を進めるにはどうしたら良いのか、まだまだ分からないことばかりです。そんな時は、初心者の特権と考えて、周囲の人たちに積極的に話を聞きに行っています。ピーマン部会の名簿があるので、先輩に電話をしてみたり。先輩方が丁寧に受け入れてくださる環境が本当にありがたいです。一関の方々に本当に助けられてい



↑ 千葉さんが管理するハウス。

ると日々感じます。」

移住を決め、無事に独立就農を果たした千葉さん。今後の目標は一関市への地域貢献だ。

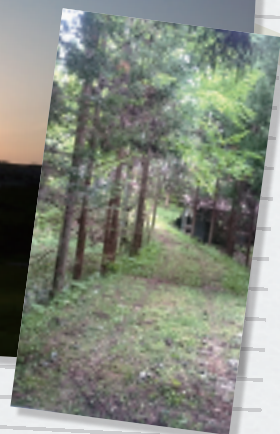
「実際に住んでみて、一関市の自然の素

My favorite scenery

一関市のお気に入り風景



↑ 北上大橋にかかる夕陽。



→ 自宅裏の旧道。



自宅の近くからは北上川に架かる北上大橋が見え、そこに夕陽がかかる風景は何とも言えません。自宅裏にある旧道は、晴れた日に散歩すると心地よいです。不便な点もありますが、自然と共に生活する喜びは何ものにも代え難いですね。

私がこの場所に決めた理由

人の魅力と会社の雰囲気の良いところに 「ここで働きたい」と心が一気に傾いた

福井県池田町 吉田 瑛さん（35歳）

林業歴・5年



「次世代へつなぐ仕事」として
林業の世界に興味を持った

町土の約9割が森林という福井県池田町は、木や森を教材にした新たな価値創造と地域の活力向上を目指す「木望のまちプロジェクト」を進めるなど、林業と密接した地域である。吉田瑛さんはそんな池田町を拠点に活動している（株）木もくレンジャーズに所属し、日々林業に勤しんでいる。

『次世代に引き継がれていく仕事があった』『という仕事への強い想いがあり、歴史的建造物に使われる木材を取り扱う愛知県名古屋市銘木屋で働いていた吉田さん。「多種多様な木材を扱っていたので木の知識を深められ、木って面白いな、と思うようになりましてね」と、銘木屋での経験が林業を志した大きなきっかけであったと振り返る。だが一方で、木材を仕入れて業者へ売るといった卸問屋的な業務に違和感を抱くようにもなっていた。

forestry



「よしだ あきら」福井県福井市生まれ。愛知県名古屋市銘木屋で働き、木材を知っていくうちに林業へ興味を持つようになり、転職を決意する。

木に魅力を感じる中で自分のやりたい仕事について考えた時、「木を植え、手入れをし、育った木を切り、また植える」といった自然のサイクルを柱にした林業への興味関心が高まり、林業の世界へ飛び込むことを決断。就業へ向けて情報収集を始める。就業先として林業の盛んな地域を模索する中、長男である吉田さんは福井県の実家へ戻ることも頭の片隅にあったという。そんな矢先、福井県林業就業相談会があることを知り、相談会に参加。「福井県に対して林業のイメージがなく、情報収集のために行ってみよう、というのが率直な気持ちでした」と話す。説明会で多くのブースで話を聞いて回り、最後に立ち寄ったのが木もくレンジャーズのブースであった。

「説明は長谷川浩代表が対応してくれたのですが、林業への熱い想いをいろいろと聞くうちに『なんか面白いところだな』と、木もくレンジャーズに興味を沸き、見学に行くことにしました」と、長谷川氏の





↑「私はほとんど直感で就業先を選んだのですが、幸い先輩や仲間にも恵まれ、「ここで働きたい」と思える仕事場に出会えました」と話す吉田さん(写真中央)。



↑長谷川代表(写真左)の林業への熱意と魅力に惹かれ就業を決めた。

「林業は職人的なところがあり、経験や勉強した分だけ実力が身に付き、自分の成長が実感できる仕事です。これからもどんどん技術を身に付けていきたいですね。」
林業の魅力

熱意と魅力に感化され、現場へ見学に行くこととなった。現場では様々な作業を見てまわり、「やってみたいと分からないな」と気持ちが高ぶると同時に、働いている人たちの雰囲気の良いさに触れ、「ここで働きたい」と心が引き込まれていったという。この見学が契機となり、木もくレンジャーズの一員として林業者となった。

地域の厚い子育て支援もあり公私ともに環境に恵まれた



←↑木もくレンジャーズでは1年を通して伐期を迎えた木の伐採、伐出荷を行って3回ほど福井市内の市場で競りにかける。

日々感じている吉田さん。これまでの経験から林業を目指す人へ「理想だけで飛び込むのは危険」だと注意をうながす。

「就業前に抱いていた印象と違う部分が必要あります。『林業をやりたい』という気持ちを一度抑え、しっかりと下調べをし、林業者から話を聞くなど、じっくりと考えて縁のあるところを探してほしいですね。」

現在は戦後に植えた木が伐期を迎え、人工林の手入れが必要となっているため、その伐採作業が主な仕事となっている。

「環境への影響を考慮し、バランスを取りながら伐採作業を進めていきたいです。さらに、将来はこれまでやったことのない植林や育林など、自然のサイクルを意識した林業もやっていきたいですね。また、木もくレンジャーズは地元の小学生に林業について授業をするなど、地域貢献も積極的に行っています。そういった地域貢献などの活動もより広げていきたいです。」

木もくレンジャーズで働き出した当初は福井市の実家から通っていたが、その後、結婚、出産を経て奥さんの実家がある池田町に移住。現在は1歳2か月の子供と家族3人で楽しい日々を過ごしている。

池田町の魅力は自然に囲まれているところですね。その他にも『ママがんばる手』

「当」など町独自の手当・補助金制度や子育て支援住宅を用意するなど育児支援も充実しています。こういった手厚い町のサポートは、私たちのように子供がいる家族は非常に助かっていますね。」

家族で移住する場合は仕事と同様に生活面の心配も大きく、フォローも重要になる。自治体のサポートにより家族で移住しやすい環境が整えられているのはうれしい。

林業の世界に飛び込み5年という節目を迎えた吉田さん。今後は新たに植林や育林に挑むなど、信念である『次代に引き継がれていく仕事』としてより林業の幅を広げ、さらなる飛躍を目指している。

My favorite scenery
池田町のお気に入り風景



↑自宅の近くには棚田のような形状になっている田んぼがあり、休日には子供と一緒に散歩して景色を楽しんでいる。



池田町は古民家をリノベーションして貸し出したりするなど、移住者の受け入れを熱心にやっています。木望のまちプロジェクトでは、木で遊べる「おもちゃハウスこどもと木」、町の木工職人が作った木の机を新小学1年生全員にプレゼントする「木の机プレゼント」など“木育”を盛んに行っています。

同僚の声

冷静沈着タイプの頼れる林業者です



株式会社 木もくレンジャーズ
小林 智映 さん

林業の世界は気合・熱血系タイプの人が多いように感じるのですが、吉田先輩は作業前に一度しっかりと考えてから動き出し、冷静で落ち着いた判断ができるタイプだと思います。福井市内の市場で行われる丸太の競りにも時々同行してくれるのですが、その際は木の値段やどんな人が購入していくのかなどをチェックしていますね。とても勉強熱心で、会社の良さを引き立ててくれる存在です。

私がこの場所に決めた理由

自分にしか出来ない真珠を作る！ そんな可能性が移住の原動力

aquaculture



愛媛県宇和島市 千葉陽亮さん（22歳） 養殖業歴…1年4か月

「ちはようすけ」埼玉県出身。専門学校在学中に、漁業就業支援フェアで真珠養殖と出会う。現在は国と宇和島市の支援事業を利用し、地元業者の下で3年間の研修を受けている。研修を経て、養殖業者として独立開業を目指す。



漁業就業支援フェアにより繋がった 宇和島の真珠養殖との縁

幼少の頃から海や水棲生物が好きだった千葉陽亮さんは、アクア業界に従事する道を選び、水族館・アクアリスト専攻のある専門学校に進んだ。同専攻の卒業生は水族館やペットショップ等への就職がほとんどであるが、千葉さんは入学以降、次第に「もっと直接的に海に関わる仕事をしたい！」と思うようになった。このことを先生に伝えたところ、全国漁業就業支援育成センターが主催する「漁業就業支援フェア」を紹介された。軽い情報収集のつもりでフェアに足を運んだ千葉さんは、その日、漁業という業種の中に「養殖」というカテゴリーがあることを初めて知った。

目に止まったのは、宇和島市・三浦漁協。真珠養殖の担い手を求めているフェア初出展だった。担当者からの説明を聞くにつれ自分が求めていた「海との繋がり」を強く感

じた千葉さんは、面談を終えると他の出展ブースには目もくれずに帰宅したという。

「真珠養殖という今まで知らなかった世界への興味に加え、技術を習得するための研修制度や、移住に関連したサポート体制が手厚かったことが、「この地」での就業を決める決定打になりました」と振り返る。

宇和島三浦地区での真珠養殖の歴史は昭和30年代にまで遡り、最盛期は70軒ほどの業者が軒を連ねていたが、近年は高齢化や担い手不足により20軒ほどに減少。しかしながら、依然、宇和島ブランドの需要は多い。そこで宇和島市が取り組んでいるのが宇和島市漁業新規就業者支援事業だ。

千葉さんは同事業の移住者向け漁業新規就業支援金の制度を利用することで、移住前に就業支度金（36万円）を、さらに研修開始に伴い就業支援金（20万円）を受給。また、3年間の家賃や交通費として一定額（40万円）を受給しており、引越し費用や家財道具等の移住費用はこれら支援金で賄う



後輩移住者の声

頼もしい先輩で、良きライバルです！



三浦漁協所属
関口 喬久 さん

今年の春に第二期生として宇和島に移住して来た関口さんも関東出身者。先輩がいるので安心では？ という問いに対して「やはり頼りになりますね。仕事の相談から休日の遊び仲間と一緒に過ごす時間は多いです」とのこと。宇和島の魅力については「何よりも人の暖かさを実感します。不安と期待が半々でしたが、今では千葉さんと一緒に楽しんでいます」と日々の充実感を伝えてくれた。

「研修を始めてから知ったのですが、本当に綺麗な球を出せる技術はまだ確立されていないんです。可能性が未知数なので、もしかしたら自分にしかない技術、技法が生み出せるかもしれません。修行を重ね、いつかは自分にしかできない真珠を作り出して、宇和島ブランドのさらなる飛躍に貢献したいです」と想いを語る。

現在、三浦漁協に所属する親方の下で契約社員として3年間の研修を受けている千葉さん。いずれは経営側の人間になる、という目標を立てているが、研修終了後もしばらくはこのまま親方の下で修行を続けさせてもらいたいとのこと。実は、それには理由がある。

海のない埼玉県育ちの千葉さんにとつて、宇和島の海の印象を聞くと「こんなに凪いだ海を見たことがありませんでしたし、海の奥に山が見える内海の景色も新鮮でした。また、宇和島に来て初めて高い所から海を見たのですが、本当に地球は丸いんだな」と実感させられました」と、宇和

都会では決して味わえない！
自然の中で過ごす充実した日々

取材時は、一年で最も忙しい、アコヤ貝に核を入れる作業の真っ最中。親方は多い人で1日に1000個程入れるが、千葉さんは親方の作業が滞りなく進むよう、移植するための外套膜を小さく切り出したり、海から次のアコヤ貝を引き揚げたりと、休む間も無く動き回る。「もともと体力には自身がありましたし、だからと言って外套膜を切り出すような緻密な作業も嫌いじゃない。むしろ、両方できることに楽しみを感じています」。



↑親方がアコヤ貝に核を入れるが、貝の大きさに合わせて核や外套膜の大きさを変える。大きさに大小をつけつつ、綺麗な正方形に切り出す緻密な作業をこなす。最初は怒鳴られていたが、最近は指示されずに動けるとか。



My favorite scenery

宇和島市のお気に入り風景



↑仕事場の近くにある、遊子の海。リアス式海岸で非常に凪いだ海という条件が、真珠養殖に最適な環境となる。

←地元の人でもあまり行くことのない、薬師谷溪谷の雪輪滝。自然が豊富で、休日は二期生と一緒に出かけリフレッシュする。



最初の1年間は、自宅でトレーニングをすることが多かったですが、二期生がやって来てからは、休日に連れ出される事が増えましたね。若い人は松山まで遊びに行くそうですが、往復200kmはちょっと躊躇します。専門学校の後輩が後に続いて行けるよう、とにかく今は3年間の研修をやり遂げられるよう頑張っています。

島の海を気に入っているようだ。移住となると気になるのは住環境や食生活。その辺りについて伺ってみると、「娯楽施設は何もないですよ。でも、都会で生活するよりも自然の中で暮らしたかったクジナはあるので自然の中で暮らしたかったクジナはあるのでそれほど苦労しないです。むしろ食生活は、魚や野菜の種類が豊富でどれも新鮮なので、埼玉にいた時よりも贅沢で美味しいものを食べられている気がします」。

住まいについては、「独り身ながら2DKの賃貸に住んでいて(補助金により相場の約半額で借りられている)、1部屋はまるまるトレーニングルームにしています。沖に出た時は体力が必要なので、体がなまららないように常に鍛錬しています」とのこと。



↑外套膜のカットが終わると、次は貝を引き上げ並べる。撮影中動き続けた。

農業経営を志す人へ

～農業経営の発展過程と経営管理を考える～

第4回



解説

高田 武 (たかだ・たけし)

全国農業会議所 農政・担い手対策 相談員

昭和54年4月に栃木県農業会議に就職し、農業者年金、農地法等の業務、農業法人協会等農業者組織の運営等を担当。特に、家族経営協定、複式農業簿記の記帳指導や税務指導、集落営農・女性起業の運営、農業経営の法人化・運営指導の分野に実践的な知見を有する。

著書

『よくわかる農家の青色申告』『農業者のための消費税の届け出から申告まで』『複式農業簿記実践テキスト』(以上、全国農業会議所) 他

農業経営の発展過程と経営管理

ステップ1 個人経営

☑ 経営と家計の未分離状態

(どんぶり勘定・白色申告・就業環境の未整備)



ステップ2 個人経営

☑ 経営と家計の分離の展開

(収支計算・青色申告・家族経営協定等就業条件の整備)



ステップ3 個人経営

☑ 経営と家計の分離の発展

(複式簿記・青色申告)

☑ 家族経営協定の実践

(部門・役割分担、給与制、休日制、労働保険・退職金等就業環境の充実、経営継承・相続対策の検討)

☑ 雇用の導入

(ゆとりある時間の確保、雇員者に対する経営者責任の自覚)



ステップ4 法人経営

(法人化によりよい経営・生活のための手段)

☑ 経営と家計の完全分離

☑ 家族経営協定の充実した実践
(法に基づく就業条件・環境の充実、部門・役割分担の明確化)

☑ 法人化のメリット確保

(経営継承・経営後継者の確保対策、経営多角化・規模拡大の優位性、雇用より優秀な人材の確保、経営哲学・経営戦略の構築、社会貢献)

☑ BigでGoodな経営

発展段階「ステップ4」 法人経営（法人化によりよい経営・生活のための手段）

法人化とは

農業経営の法人化の先駆者であり、農業経営の指導者であった故八木沢育夫さん（元栃木県農業法人協会会長）が、法人化について、次のように喩えていました。

「手漕ぎのボートで目的地へ行くとしたらスピードもゆっくりだし、荷物は少ししか積むことができない。早く行こうとしたらエンジン付きのボート（モーターボート）になるし、しかもたくさん積もうとしたらクルーザーみたいな大型ボートが必要となる。スピードが速くなれば、船体が大きくなれば、運転は慎重を期さないといけない。免許も必要となってくる。」

「経営の発展段階に応じて、その運営手法を身に付けなさい。また、誤魔化しをしてはいけません。」

家族経営を手漕ぎのボートとして、法人経営をモーターボートなりクルーザーに喩えて法人経営の運営を示しました。

農業経営を法人化すれば経営がよくなるわけではありません。

まして、資金繰りなどによって、倒産もあり得ます。経営を組織的に管理・運営する能力が経営者には求められます。

このため、個人経営段階でその素地・素養を身に付けておくことです。できれば、先に述べたステップ3の段階まで経営の熟度を高めていき、個人経営では達成できないものを法人経営のメリットを活かして求めていきます。

なお、法人化する時期についての判断ですが、よく売上高や法人化のメリットを求めたいとしますが、個人的には青色申告決算書の青色専従者給与と経営

営主の農業所得を合計して、家計費を満たせるかを判断基準としています。

法人経営のメリットをいかに発揮するか

(1) 経営者としての意識改革

法人としての経営理念を掲げ、構成員一体となって経営計画を立て、組織運営を行いましょ。構成員や経営者としての責任感や意識改革が期待できます。

名刺に代表取締役社長、後継者や配偶者に専務・常務取締役と印字されるだけでも意識が向上します。

(2) 金融機関や取引先の信用力向上

法人は複式簿記記帳及び青色申告をすることとなります。財務諸表や資金繰りを理解し、規模拡大や経営改善に伴う資金確保・管理に役立てましょう。

また、法人経営にすると「企業」としてのイメージや財務諸表の開示により、金融機関や取引先との信用力向上に活かすことができます。

(3) 就業環境の充実

個人経営では曖昧でありがちな就業環境も、法人化では経営者を含めた給与制、就業規則、退職金制度等の整備や社会保険制度（厚生年金・健康保険・労災雇用保険等）の整備をします。

このことによって、民主的家族関係の構築と個人の尊重が促されます。

なお、経営主所得が給与所得となるため節税効果もあります。

(4) 有能な人材の確保

充実した就業環境を整備することで、有能でやる気のある、また適切な役割分担が可能となる雇用従事者の確保ができます。

(5) 円滑な経営継承

法人経営を運営していく過程で、後継者や雇用従事者に出資構成員として経営参画後、適任者に対しての円滑な経営継承が可能となります。

なお、肉牛経営等棚卸資産が多額となる畜産経営では、経営継承対策として法人化を検討することもあります。

(6) 経営発展の可能性

経営環境を充実しながら、規模拡大や生産から販売・加工等経営多角化に取り組み、「BIGでGOOD」な経営発展を目指すとともに、農業経営を通して人生を豊かにすることが期待されます。

参考図書

平成29年度版
よくわかる農家の青色申告
発行：(一社)全国農業会議所
定価：800円
規格：A4判・133頁

※お求めは、お住まいの都道府県の農業会議へご注文いただくか、全国農業図書のHPからお申込みください。

全国農業図書 検索



日本農業技術検定 のご案内



撮影協力：JA 東京中央

日本農業技術検定は、農業高校からの進学・就職や農業大学校・大学での資格取得、農業法人等で学ぶ研修生の研修効果の確認のほか、JA 営農指導員や都道府県農業改良普及員・民間農業関連企業・農業法人社員の技術レベルの向上にも利用するなど社会人にも幅広く活用されています。

受験者は年々増加しており、平成29年度は2万6千人を超える受験があり、これまで21万人以上の受験者がありました。

農業法人では一定レベルの資質をもった従業員を求めているので、採用にあたって資格を優遇する法人も増えています。

また、最近ではJA 営農指導員の受験者が増加しており、一

部のJAでは日本農業技術検定2級資格以上を営農指導員上位資格の要件の一つとしています。

就農や農業法人、JA等就職のためにぜひ日本農業技術検定を受験しましょう！

過去問題集で バッチリ対策、実力アップ！

▶ お申し込みは都道府県農業会議 (P19)
またはHPから

全国農業図書

検索



大都会東京の農業を支える JA の人材育成のため日本農業技術検定を推進

JA 東京中央営農経済部

JA 東京中央の職員数は約330名で本支店15店舗がある中、これまで営農経済部が主に営農指導員を対象として各種研修会を実施し、平成28年度から研修の到達点の確認のために日本農業技術検定に取り組んでいます。

平成29年度は第1回、第2回合計で3級52名、2級32名、1級2名が受験し、営農支援課が当初は窓口になりましたが、現在では人事課を窓口金融・店舗の職員も検定に取り組み、組合員と接しても以前と比べて意識の違いが埋まり相互理解が出来るようになりました。

平成30年度 第2回学科試験日程

1. 試験日	【第2回】平成30年 月 日 (土)	受験者数	合格率	3級試験科目別合格率 65 60 55 50 45 (%)	
2. 試験科目	3級 栽培系・畜産系・食品系・環境系の4選択科目、マークシート方式 2級・1級 作物・野菜・花き・果樹・畜産・食品の6選択科目、マークシート方式	3級	20,681人 56%		栽培系 56
		2級	5,743人 18%		畜産系 54
		1級	277人 6%		食品系 61
		計	26,701人 47%		環境系 51
3. 試験結果 (29年度)					

※ 2級学科試験合格者で2級実技試験受験希望者は平成30年11月10日(土)に実技試験を行います。免除措置もありますので詳しくはホームページをご参照下さい。

第2回受験のお申し込みは **10月1日(月)**から **日本農業技術検定ホームページ**で！

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

全国農業図書

新たに農業経営を始める人の必見図書！

はじめてのパソコン農業簿記 改訂 7 版
ソリマチ (株)「農業簿記 10」体験版 CD-ROM 付



ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 10」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。
図書コード：28-43
定価：2,880 円
規格：A4 版 163 頁

「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」について、多くの例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は、活用者の手元で即戦力になります。簿記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者、実務経験者の心強い味方になるものです。
図書コード：29-11
定価：1,650 円
規格：A4 版 130 頁



全国農業図書

検索

福島県・須賀川市

「牡丹」を育て、その美しさを後世に伝える 地域おこし協力隊募集中！！



福島県と須賀川市では、国指定名勝「須賀川の牡丹園」をともに守り続ける方を「地域おこし協力隊」として募集します。
古来の牡丹の美しさを守りながら、新たな発想でより多くの人に牡丹の素晴らしさを伝えていく。
そんな地域の活性化にチャレンジしてみませんか？

福島県 企画調整部地域振興課

お問い合わせ

☎ 024-521-7114 (直通) FAX 024-521-7912

E-mail tiikishinkou@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025b/tiikishinkou-117.html>

岩手県 一関市

実感・体感・共感をまるごと味わう

「いちのせき農業チャレンジモニター体験会」参加者募集

君のチャレンジを全力で応援します 東北のど真ん中“いちのせき”

岩手県
一関市って
どこ？

- 募集対象者 ▶ 概ね 40 歳未満で農業に関心のある方
- 募集人員 ▶ 6 名
- 実施日 ▶ 平成 30 年 9 月 1 日 (土) から 9 月 2 日 (日) の一泊三日
- 募集期間 ▶ 募集中～ 8 月 24 日 (金) まで
- 体験内容 ▶ 野菜の収穫と先輩新規就農者との交流
- 参加経費 ▶ 9,000 円程度
- 集合場所 ▶ JR 一ノ関駅 東口 (集合場所までは参加者で手配)
- 申込み ▶ 市が用意する申込書により、FAX 又はメールで受付



お問い合わせ・申し込み先

一関市役所農林部農政課

〒 021-8501
岩手県一関市竹山町 7 番 2 号

☎ 0191-21-8421 FAX 0191-21-4221

E-mail manabusa@city.ichinoseki.iwate.jp

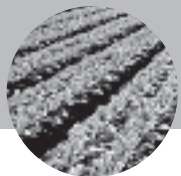
担当：農村定住・就農支援員

とくしま就農スタート研修

徳島県では、本県で新たに農業を始めたい方が、円滑に就農出来るよう、県内の農業法人等が研修生として雇用し、実践的な技術を習得していただくための研修制度「とくしま就農スタート研修事業」の参加者を募集しています。

求む

農業研修生・受入経営体



- 【募集期間】(第1次募集)平成30年5月 7日～平成30年 6月18日
(第2次募集)平成30年7月17日～平成30年 8月20日
【研修期間】(第1次募集)平成30年7月 1日～平成30年12月31日
(第2次募集)平成30年9月 1日～平成31年 2月28日



農業研修生の募集 (詳細な要件、申込書は下記、ホームページに掲載)

- 【主な応募資格】●徳島県で就農する強い意欲をお持ちの方※県外からの移住者を優先的に事業に採択します。
●55歳未満であること ●普通運転免許証を有する者
【研修のメリット】●農業技術、経営ノウハウの習得
【募集人数】●40名程度



受入経営体の募集 (詳細な要件、申込書は下記、ホームページに掲載)

- 【主な応募資格】●新規就農者を育成する意思と能力を備えていること
●研修生を雇用し、賃金を支払うこと ●期間の定めのある雇用契約を締結すること
●周年を通じて、月間140時間以上の労働時間を確保すること
●労働保険に加入すること
【研修経費助成】●研修費：上限月額97,000円 ●指導者研修費：上限36,000円

お問い合わせはお気軽にどうぞ

一般社団法人 徳島県農業会議

徳島市北佐古一番町5番12号 徳島県JA会館8階

とくしま就農スタート | Q

TEL.088-678-5611 FAX.088-678-5664 E-mail:home@tokukaigi.or.jp http://www.tokukaigi.or.jp/



(公社)新潟県農林公社 青年農業者等育成センター

新潟で互いに☆夢を叶えよう!



若手農業者
活躍中

支援1 就農相談の実施(専任の相談員が対応)

地域	日程	会場	内容
東京	8月5日(日)、9月29日(土)、 10月7日(日)、10月20日(土)、 12月16日(日)、1月19日(土)	ふるさと回帰支援センター、 東京交通会館 など	本県の魅力・暮らしやすさなどの情報発信 地域の魅力発信 就農相談
	8月4日(土)	ANA クラウンプラザホテル新潟	新潟県内の農業法人等との就業面談 就農・就業相談
	10月27日(土)	パストラル長岡	
11月24日(土)	ANA クラウンプラザホテル新潟		
新潟	2月23日(土)	新潟県庁	

※「新・農業人フェア」(東京会場：7/28、9/1、1/26 大阪会場：12/22) 出席。
※新潟県新規就農相談センターでは、9～17時(土日祝日を除く)まで面談や電話等で相談に対応。

支援2 体験・研修プログラムの提供

支援3 農業の就業先を紹介

お問い合わせ

新潟県新規就農相談センター

検索

(公社)新潟県農林公社
青年農業者等育成センター

(一社)新潟県農業会議 業務推進部

☎ 025-281-3480
FAX 025-281-3481

☎ 025-223-2186
FAX 025-223-2401

公益財団法人 いしかわ農業総合支援機構

応援します☆

～いしかわの地であなたが思い描く農業～

最近、
農業が気になり
出した方へ



【PR その1】機構が主催する多種多様な就農イベント

日程	会場	講座概要
8月24日(金)	ILAC 東京 (パソナグループ東京本社)	農業女子とのトークセッション
12月1日(土)		学生と若手農業経営者との意見交換
8月4日(土)		就農までのステップ(仮)
10月6日(土)		移住就農に関するテーマで、石川県内で活躍する若手農家やアドバイザーと楽しく意見交換します。
2月16日(土) (全3回)		
10月27日(土) 12月8日(土)	石川県内	バスで能登地域、加賀地域の農業者を視察し、体験を交えながら気軽に石川県の農業を学べます。

～機構が参加する就農相談会～

☆新・農業人フェア EXPO (大阪会場：7月15日、12月22日
東京会場：7月28日、9月1日、1月26日)

☆マイナビ就農フェスト(東京会場：8月26日)

☆石川県での就農や制度等のご相談は、お電話でも受け付けております。お気軽にご相談下さい!

【PR その2】充実した研修制度

研修名	開催時期	期間	研修概要	おすすめの人
農業短期研修	随時受付	3～7日間	石川県の農業法人等での職場体験や農業者との交流	移住就農に興味があり、石川県での暮らしを体験してみたい方
農業インターンシップ制度(短期・長期)	随時受付	10日～9ヶ月	石川県の農業法人等で10日間の研修後、最大9ヶ月の長期研修への移行が可能	石川県での移住就農を検討しており、移住生活や自身の農業の適性について知りたい方

お問い合わせ

☎ 076-225-7621 FAX 076-225-7622
Mail: info@inz.or.jp



活用しよう!! WEB iju info
URL: <http://web-iju.info/>



●地元に設置されているI・J・Uターン定住・相談窓口 (注) 定=定住情報、就=就職相談窓口

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
北海道	北海道移住・交流総合案内窓口	定		011(251)1055	札幌市中央区北1条西7丁目1 プレスト1・7ビル4階
青森県	青森県企画政策部地域活力振興課移住・交流推進グループ	定		017(734)9174	青森市長島1-1-1
岩手県	定住・交流サポートセンター	定		019(629)5194	盛岡市内丸10-1 県庁地域振興室内
	(公財)ふるさといわて定住財団		就	019(653)8976	盛岡市大通3丁目2番8号 岩手県金属工業会館6階
	いわてU・Iターンサポートデスク		就	019(621)1171	盛岡市菜園1-12-18 盛岡菜園センタービル5階ジョブカフェいわて内
秋田県	(公財)秋田県ふるさと定住機構		就	018(826)1731	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ3階
	NPO法人秋田移住定住総合支援センター	定		018(893)3981	秋田市御所野地蔵田3-1-1 秋田テルサ1階
山形県	すまいる山形暮らし案内所	定		023(630)3083	山形市松波2-8-1 県庁内
福島県	ふるさと福島就職情報センター福島窓口		就	024(525)0047	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま2階
	福島県地域振興課	定		024(521)8023	福島市杉妻町2-16
栃木県	栃木県総合政策部地域振興課	定		028(623)2236	宇都宮市鳩田1-1-20 県庁内
	とちぎジョブモール		就	028(623)3226	宇都宮市駅前通り1-3-1 KDX宇都宮ビル1階
群馬県	群馬県企画部地域政策課	定		027(226)2371	前橋市大手町1-1-1 県庁内
	ジョブカフェぐんま		就	027(330)4510	高崎市旭町34-5 旭町ビル3階
静岡県	“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター	定		054(221)2610	静岡市葵区追手町9-6 県庁西館6階静岡県くらし・環境部政策監内
愛知県	愛知県交流居住センター	定	就	052(232)1750	名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル5階
新潟県	新潟県U・Iターンコンシェルジュ新潟事務局	定	就	025(374)7410	新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストックビル鏡橋3階
富山県	富山くらし・しごと支援センター富山オフィス	定	就	076(431)3691	富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル8階(株)パソナ・富山内
石川県	いしかわ就職・定住総合サポートセンター	定	就	076(235)4540	金沢市石引4-17-1
	(公財)いしかわ農業総合支援機構		就	076(225)7621	金沢市鞍月2-20
福井県	ふるさと福井移住定住促進機構	定	就	0776(43)6295	福井市手寄1丁目4-1 アオッサ7階
長野県	長野県企画振興部地域振興課(信州暮らし案内人)	定		026(233)1794	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
	長野県産業労働部労働雇用課		就	026(235)7118	長野市大字南長野字幅下692-2 県庁内
岐阜県	清流の国づくり政策課移住定住まちづくり室	定		058(272)8078	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁3階
三重県	おしごと広場みえ		就	059(222)3300	津市羽所町700 アスト津3階
	三重県地域連携部地域支援課	定		059(224)2420	津市広明町13
京都府	京の田舎ぐらし・ふるさとセンター	定		075(441)6624	京都市上京区出水通小路東入ル丁子風呂町104-2 府庁西別館2階
	京都ジョブパーク農林水産業コーナー		就	075(682)1800	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
	京都ジョブパークUIターンコーナー		就	075(682)8929	京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階
兵庫県	ひょうご・しごと情報広場		就	078(360)6216	神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 12階
奈良県	奈良県 県・市町村ワンストップ窓口	定		0744(48)3016	橿原市常盤町605-5 総合庁舎3階
和歌山県	和歌山県企画部地域振興局移住定住推進課	定		073(441)2930	和歌山市小松原通1-1
	和歌山県ふるさと定住センター	定		0735(78)0005	東牟婁郡古座川町直見212
	和歌山県農林大学校就農支援センター		就	0738(23)3488	御坊市塩屋町南塩屋724
	わかやま定住サポートセンター	定	就	073(422)6110	和歌山市本町1-22 Wajima本町ビル1階
鳥取県	(公財)ふるさと鳥取県定住機構	定	就	0857(50)0137	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
	鳥取県移住定住サポートセンター	定		0120(841)558	鳥取市扇町7 鳥取フコク生命駅前ビル1階
島根県	(公財)ふるさと島根定住財団	定	就	0852(28)0690	松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
岡山県	岡山県中山間・地域振興課	定		086(226)7862	岡山市北区内山下2-4-6 県庁8階
	岡山県労働雇用政策課		就	086(226)7599	岡山市北区内山下2-4-6 県庁7階
広島県	広島県地域力創造課	定		082(513)2581	広島市中区基町10-52 県庁南館2階
	広島県無料職業紹介所		就	082(513)3422	広島市中区基町10-52 県庁東館3階
山口県	やまぐち暮らし総合支援センター	定	就	083(976)0277	山口市小郡高砂町1-20
徳島県	とくしまジョブステーション		就	088(625)3190	徳島市寺島本町西1丁目61番地 徳島駅クレメントプラザ5階
香川県	香川県就職・移住支援センター	定	就	087(802)4800	高松市サンポート2-1 マリタイムプラザ高松2階
愛媛県	愛媛ふるさと暮らし応援センター	定		089(922)4110	松山市宮西1丁目5番19号 愛媛県商工会連合会館3階
	ふるさと愛媛Uターンセンター		就	089(913)8686	松山市湊町3丁目4番地6 松山銀天街GET!4階

地域	団体名	定	就	電話番号	所在地
高知県	高知県移住・交流コンシェルジュ	定	就	088(823)9336	高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁3階
	高知県事業継承・人材確保センター(U・Iターン就職支援室)		就	088(855)7748	高知市本町2-2-29 畑山ビル5階
佐賀県	さが移住サポートデスク	定	就	0952(25)7551	佐賀市城内1-1-59 新館1階
長崎県	ながさき移住サポートセンター(長崎本部)	定	就	095(894)3581	長崎市江戸町2丁目13 県庁内
熊本県	熊本県企画振興部地域振興課	定		096(333)2135	熊本市中央区水前寺6-18-1
	熊本県U・Iターン就職支援センター熊本窓口		就	0120(827)867	熊本市中央区水道町8-6 朝日生命熊本ビル1階くまジョブ熊本県しごと相談・支援センター内
大分県	おおいた産業人財センター		就	0120(119)201	大分市中央町3-6-11 ガレリア竹町内
	おおいた暮らし相談窓口(大分)	定		097(506)2038	大分市大手町3-1-1 大分県庁舎本館3階
宮崎県	宮崎ひなた暮らしU・Iターンセンター宮崎本部	定	就	0985(27)3685	宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンズフィア壱番館[KITEN]3階みやざきJOBパーク+内
鹿児島県	鹿児島県企画部地域政策課	定		099(286)2424	鹿児島市鴨池新町10番1号

●全国の就職情報や関連情報を提供する窓口

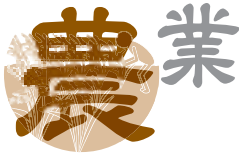
地方就職支援コーナー(地方や農林漁業に関する職業相談、就職紹介、求人情報等の提供(国の機関))	03(5419)8609	東京都港区芝5-35-3
まちむら交流きこう 広報情報センター部〔農林漁業体験の情報提供〕	03(4335)1982	東京都千代田区神田東松下町45 神田金子ビル5階
移住・交流推進機構(JOIN)	03(3510)6581	東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

●道県U・I・Jターン就職情報等提供・相談窓口

(注) 農＝農業就業情報、林＝林業就業情報、漁＝漁業就業情報、定＝定住情報、求＝地元企業求人情報

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
北海道	北海道移住情報コーナー	農			定	求	011(204)5089	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階 北海道東京事務所室内
	北海道ふるさと移住定住推進センター「どさんこ交流テラス」	農	林	漁	定	求	090(1541)0011	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
青森県	あおもりUターン就職支援センター					求	03(3238)9990	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 青森県東京事務所内
	青森暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		090(6342)6194	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
岩手県	岩手県Uターンセンター	農			定	求	03(3524)8284	東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1階 いわて銀河プラザ内
	いわて暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		080(8871)1741	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
宮城県	みやぎ移住サポートセンター(東京)	農	林	漁	定	求	03(6734)1344	東京都千代田区大手町2-6-2
	みやぎ暮らし相談センター	農	林	漁	定		090(1559)4714	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
秋田県	Aターンプラザ秋田				定	求	0120(122)255	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階 秋田県東京事務所内
	あきたで暮らしそう! Aターンサポートセンター	農	林	漁	定	求	080(9292)5195	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	秋田県大阪事務所					求	06(6341)7897	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
山形県	山形県Uターン情報センター					求	03(5212)8996	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階 山形県東京事務所内
	やまがたハッピーライフ情報センター	農	林	漁	定	求	03(6269)9533	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	山形県大阪事務所	農					06(6341)6816	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前ビル第1ビル8階
福島県	福が満開、福しま暮らし情報センター	農	林	漁	定		03(6551)2989	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
茨城県	いばらき暮らしサポートセンター	農	林		定		080(9552)5333	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	いばらき移住・就職相談センター	農	林		定	求	03(5212)9088	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 茨城県東京事務所内
栃木県	とちぎ暮らし・しごと支援センター	農	林		定		080(9502)5985	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
群馬県	ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」	農			定	求	03(3546)8511	東京都中央区銀座5-13-19 デュープレックス銀座タワー5/13 1・2階
	ぐんま暮らし支援センター	農	林		定	求	080(8870)2756	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
埼玉県	住むなら埼玉移住サポートセンター	農	林		定		090(1559)4781	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
神奈川県	ちょこっと田舎・かながわライフ支援センター	農		漁	定	求	070(4127)5905	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山梨県	やまなし暮らし支援センター	農	林		定	求	03(6273)4306	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまなしU・Iターン就職情報コーナー大阪	農	林			求	06(6344)5961	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階 山梨県大阪事務所内
富山県	富山くらし・しごと支援センター 白山オフィス					求	0120(108)250	東京都文京区白山5-1-3 東京富山会館ビル5階
	富山くらし・しごと支援センター 有楽町オフィス				定		080(8870)2456	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
石川県	いしかわ移住Uターン相談センター	農	林	漁	定	求	03(6734)1497	東京都千代田区大手町2-6-2 パソナグループ本部内
	いしかわ移住Uターン相談センター(ILAC東京)	農	林	漁	定	求	090(1541)8786	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
福井県	ふるさと福井移住定住促進機構 東京オフィス	農	林	漁	定	求	03(6273)4322	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	ふるさと福井移住定住促進機構 大阪オフィス	農	林	漁	定	求	06(6226)1688	大阪市中央区瓦町2-2-14 福井県大阪事務所内
長野県	長野県移住・交流センター	農	林		定	求	03(6274)6016	東京都中央区銀座5-6-5 NOCOビル4階
	信州に暮らし。楽園信州移住相談センター	農	林		定	求	080(7735)3992	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
岐阜県	清流の国ぎふ 移住・交流センター	農	林		定	求	080(7749)3317	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
三重県	ええとこやんか三重 移住相談センター	農	林	漁	定	求	080(9512)5093	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
新潟県	にいがたUターン情報センター	農	林	漁		求	03(5771)7713	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館ネスバス2階
	新潟県U・Iターンコンシェルジュ 東京事務局	農	林	漁	定	求	03(6734)1358	東京都千代田区大手町2-6-4 (株式会社)パソナグループ本部内
	にいがた移住支援デスク・コスモにいがた(表参道オフィス)	農	林	漁	定		03(3479)1415	東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館ネスバス2階

地域	団体名	農	林	漁	定	求	電話番号	所在地
静岡県	にいがた移住支援デスク・コスモにいがた(有楽町オフィス)	農	林	漁	定		090(1657)7263	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	静岡U・1ターン就職サポートセンター	農	林	漁	定	求	0800(800)6617	東京都品川区上大崎2-25-2 新目黒東急ビル6階 東海道沿線東京支店内
	“ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター	農	林	漁	定	求	03(6206)3858	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
滋賀県	しがIJU相談センター	農	林	漁	定	求	090(2730)4793	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	京都府 京都府移住相談窓口(東京)				定		080(8504)9734	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
和歌山県	京都府移住相談窓口(大阪)				定		06(4790)3000	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階 大阪ふるさと暮らし情報センター内
	和歌山県東京事務所	農	林	漁	定	求	03(5212)9057	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 和歌山県東京事務所内
	わかやま定住サポートセンター(東京)				定		03(6269)9883	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
鳥取県	大阪ふるさと暮らし情報センター				定		06(4790)3000	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階 大阪ふるさと暮らし情報センター内
	鳥取県移住定住サポートセンター(東京)	農	林	漁	定	求	0120(372)315	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 鳥取県東京本部内
	鳥取県移住定住サポートセンター(大阪)	農	林	漁	定	求	0120(928)480	大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階 鳥取県関西本部内
島根県	とっとり暮らしサポートセンター	農	林	漁	定		090(1657)7470	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー(東京)				定	求	0120(60)2357	東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル1階 にほんばし島根館内
	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー(大阪)				定	求	0120(70)2357	大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル2階 島根県大阪事務所内
岡山県	島根県ふるさと定住・雇用情報コーナー(広島)	農	林	漁	定	求	082(541)2410	広島市中区立町1-23 ごうぎん広島ビル3階 島根県広島事務所内
	岡山県企業人材確保支援センター 東京ランチ					求	03(5212)9080	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階 岡山県東京事務所内
	岡山県企業人材確保支援センター 大阪ランチ					求	06(6131)6390	大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル1階 岡山県大阪事務所内
広島県	おかやま晴れの国ぐらし	農	林	漁	定	求	090(6344)1948	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	東京ふるさと就職情報コーナー					求	03(3580)0851	東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 22階 広島県東京事務所内
	ひろしま暮らしサポートセンター	農	林	漁	定	求	080(5873)3296	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
山口県	大阪ふるさと就職情報コーナー					求	06(6345)5821	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階 広島県大阪情報センター内
	やまぐち暮らし東京支援センター	農	林	漁	定	求	03(6273)4887	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	やまぐち暮らし大阪支援センター	農	林	漁	定	求	06(6341)0755	大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル2階 山口県大阪営業本部内
徳島県	徳島県東京本部徳島Uターンコーナー	農				求	03(5212)9022	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館14階 徳島県東京事務所内
	住んでみて徳島で!移住相談センター				定		090(7720)7047	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	徳島県大阪本部徳島Uターンコーナー	農	林				06(6251)3273	大阪市中央区南船場3-9-10 徳島ビル4階 徳島県大阪事務所内
香川県	香川県東京人材Uターン・コーナー	農	林	漁	定	求	03(5212)9100	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 香川県東京事務所内
	うどん県・香川暮らし相談コーナー				定		080(2125)1634	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	香川県大阪人材Uターン・コーナー	農	林	漁	定	求	06(6281)1661	大阪市中央区東心斎橋1-18-24 クロスシティ心斎橋4階
愛媛県	愛媛県東京事務所	農			定	求	03(5212)9071	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館11階
	愛媛ふるさと暮らし応援センター				定		080(7749)3244	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	愛媛県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06(6441)2829	大阪市西区江戸堀1-9-1 肥後橋センタービル1階
高知県	高知県東京事務所				定	求	03(3501)5541	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル7階
	高知県移住相談窓口	農	林	漁	定	求	03(6273)4626	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	高知県移住・交流コンシェルジュ(月曜のみ)	農	林	漁	定	求	03(3561)8417	東京都中央区銀座1-3-13 The ORB Premiere(高知県アンテナショップ[まるごと高知]地下1階)
福岡県	高知県移住促進・人材確保センター					求	03(6206)1707	東京都千代田区内幸町1-3-3 内幸町ダイビル7階 高知県東京事務所内
	高知県大阪事務所				定		06(6244)4351	大阪市中央区本町2-6-8 センパセントラルビル1階
	大阪ふるさと暮らし情報センター(毎月第4金土日・出張相談窓口)	農	林	漁	定	求	088(823)9336	大阪市中央区本町橋2-31 シティプラザ大阪1階
佐賀県	福岡県 福岡県移住相談センター	農	林	漁	定	求	03(6273)4048	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	さが移住サポートデスク(東京)				定	求	090(1657)8205	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	長崎県 ながさき移住サポートセンター	農	林	漁	定	求	080(7735)3852	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
熊本県	長崎県大阪事務所					求	06(6341)0012	大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
	くまもと移住定住支援センター	農	林	漁	定	求	080(2125)1656	東京都千代田区有楽町2-10-1 ふるさと回帰支援センター内
	熊本県大阪事務所	農					06(6344)3883	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
大分県	大分県東京事務所	農	林	漁	定	求	03(6862)8787	東京都中央区銀座2-2-2 ヒューリック西銀座ビル6階
	おおいた暮らし相談窓口	農	林	漁	定	求	080(7731)8944	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	大分県大阪事務所	農	林	漁	定	求	06(6345)0071	大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
宮崎県	大分県福岡事務所	農	林	漁	定	求	092(721)0041	福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル10階
	宮崎県東京事務所	農	林	漁	定	求	03(5212)9007	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階
	宮崎ひなた暮らしUターンセンター	農	林	漁	定	求	03(6273)4200	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
鹿児島県	宮崎県大阪事務所	農			定	求	06(6345)7631	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
	宮崎県福岡事務所					求	092(724)6234	福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル8階
	鹿児島県ふるさと人材相談室(東京)	農	林		定	求	03(5212)9062	東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館12階 鹿児島県東京事務所内
鹿児島県	かごしま「よかとこ」暮らし支援センター				定		080(7731)7915	東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 ふるさと回帰支援センター内
	鹿児島県ふるさと人材相談室(大阪)	農			定	求	06(6341)5618	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階11号 鹿児島県大阪事務所内



●新規就業希望者の相談窓口

全国新規就農相談センター 〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
 中央労働基準協会ビル2階 (一社) 全国農業会議所内
 TEL: 03 (6910) 1133 (相談用) <http://www.nca.or.jp/Be-farmer/>

都道府県新規就農相談センター

都道府県青年農業者等育成センター	電話番号	都道府県農業会議	電話番号
(公財) 北海道農業公社 北海道農業担い手育成センター	011 (271) 2255	(一社) 北海道農業会議	011 (281) 6761 (直)
(公社) あおもり農林業支援センター	017 (773) 3131	(一社) 青森県農業会議	017 (774) 8580 (直)
(公社) 岩手県農業公社	019 (623) 9390	(一社) 岩手県農業会議	019 (626) 8545 (直)
(公社) みやぎ農業振興公社	022 (275) 9192	(一社) 宮城県農業会議	022 (275) 9164 (直)
(公社) 秋田県農業公社	018 (893) 6212	(一社) 秋田県農業会議	018 (860) 3540 (直)
(公財) やまがた農業支援センター	023 (641) 1117	(一社) 山形県農業会議	023 (622) 8716 (直)
(公財) 福島県農業振興公社(福島県青年農業者等育成センター)	024 (521) 9848	(一社) 福島県農業会議	024 (524) 1201 (直)
(公社) 茨城県農林振興公社	029 (239) 7131	(一社) 茨城県農業会議	029 (301) 1236 (直)
(公財) 栃木県農業振興公社	028 (648) 9515	(一社) 栃木県農業会議	028 (648) 7270 (直)
(公財) 群馬県農業公社	027 (251) 1220	(一社) 群馬県農業会議	027 (280) 6171 (直)
(公社) 埼玉県農林公社	048 (559) 0551	(一社) 埼玉県農業会議	048 (829) 3481 (直)
(公社) 千葉県園芸協会	043 (223) 3008	(一社) 千葉県農業会議	043 (223) 4480 (直)
(公財) 東京都農林水産振興財団	042 (528) 1357	(一社) 東京都農業会議	03 (3370) 7145 (直)
かながわ農業アカデミー-就農企業参入課就農支援班	046 (238) 5274	(一社) 神奈川県農業会議	045 (201) 0895 (直)
(公財) 山梨県農業振興公社(山梨県就農支援センター)	055 (223) 5747	(一社) 山梨県農業会議	055 (228) 6811 (直)
(一社) 岐阜県農畜産公社	058 (276) 4601	(一社) 岐阜県農業会議	058 (268) 2527 (直)
(公社) 静岡県農業振興公社	054 (250) 8991	(一社) 静岡県農業会議	054 (255) 7934 (直)
愛知県庁(愛知県農林水産部農業経営課)	052 (954) 6409	(一社) 愛知県農業会議	052 (962) 2841 (直)
(公財) 三重県農林水産支援センター	0598 (48) 1226	(一社) 三重県農業会議	059 (213) 2022 (代)
(公社) 新潟県農林公社 青年農業者等育成センター	025 (281) 3480	(一社) 新潟県農業会議	025 (223) 2186 (直)
(公社) 富山県農林水産公社	076 (441) 7396	(一社) 富山県農業会議	076 (441) 8961 (直)
(公財) いしかわ農業総合支援機構	076 (225) 7621	(一社) 石川県農業会議	076 (240) 0540 (直)
(公社) ふくい農林水産支援センター	0776 (21) 8311	(一社) 福井県農業会議	0776 (21) 8234 (直)
(公社) 長野県農業担い手育成基金	026 (231) 6222	(一社) 長野県農業会議	026 (234) 6871 (直)
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	077 (523) 5505	(一社) 滋賀県農業会議	077 (523) 2439 (直)
(公社) 京都府農業総合支援センター	075 (417) 6847	(一社) 京都府農業会議	075 (441) 3660 (直)
大阪府就農相談窓口	06 (6210) 9596	(一社) 大阪府農業会議	06 (6941) 2701 (直)
(公社) 兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター	078 (965) 0247	(一社) 兵庫県農業会議(ひょうご就農支援センター)	078 (391) 1221 (代)
(公財) なら担い手・農地サポートセンター	0744 (21) 5020	(一社) 奈良県農業会議	0742 (22) 1101 (代)
(公財) 和歌山県農業公社	073 (433) 5547	(一社) 和歌山県農業会議	073 (432) 6114 (直)
(公財) 鳥取県農業農村担い手育成機構	0857 (26) 8350	(一社) 鳥取県農業会議	0857 (26) 8371 (直)
(公財) しまね農業振興公社	0852 (20) 2872	(一社) 島根県農業会議	0852 (22) 4471 (直)
(公財) 岡山県農林漁業担い手育成財団	086 (226) 7423	(一社) 岡山県農業会議	086 (234) 1093 (直)
広島県就農支援課	082 (513) 3531	(一社) 広島県農業会議	082 (545) 4146 (直)
(公財) やまぐち農林振興公社	083 (902) 6696	(一社) 山口県農業会議	083 (923) 2102 (直)
(公財) 徳島県農業開発公社	088 (624) 7247	(一社) 徳島県農業会議	088 (678) 5611 (直)
(公財) 香川県農地機構	087 (831) 3211	(一社) 香川県農業会議	087 (812) 0810 (直)
(公財) えひめ農林漁業振興機構	089 (945) 1542	(一社) 愛媛県農業会議	089 (943) 2800 (直)
(公財) 高知県農業公社	088 (823) 8618	(一社) 高知県農業会議	088 (824) 8555 (直)
(公財) 福岡県農業振興推進機構	092 (716) 8355	(一社) 福岡県農業会議	092 (711) 5070 (直)
(公社) 佐賀県農業公社	0952 (20) 1590	(一社) 佐賀県農業会議	0952 (20) 1810 (直)
(公財) 長崎県農林水産担い手育成基金	0957 (25) 0031	(一社) 長崎県農業会議	095 (822) 9647 (直)
(公財) 熊本県農業公社	096 (385) 2679	(一社) 熊本県農業会議	096 (384) 3333 (直)
(公社) 大分県農業農村振興公社	097 (535) 0400	(一社) 大分県農業会議	097 (532) 4385 (直)
(公社) 宮崎県農業振興公社	0985 (51) 2011	(一社) 宮崎県農業会議	0985 (73) 9211 (直)
(公社) 鹿児島県農業・農村振興協会	099 (213) 7223	(一社) 鹿児島県農業会議	099 (286) 5815 (直)
(公財) 沖縄県農業振興公社	098 (882) 6801	(一社) 沖縄県農業会議	098 (889) 6027 (直)



●新規就業希望者の相談窓口
 一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター
 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13
 三会堂ビル
 TEL : 03 (5545) 1617
<http://www.ryoushi.jp/>



●新規就業希望者の相談窓口
 林業労働力確保支援全国センター
 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12
 コービル 全国森林組合連合会内
 TEL : 03 (3294) 9713
<http://www.nw-mori.or.jp/>

●沖合・遠洋漁業

(一社) 全国漁業就業者確保育成センター	03 (5545) 1617
----------------------	----------------

●沿岸漁業

地域	都道府県別相談窓口	電話番号
北海道	北海道漁業就業支援協議会	011 (280) 3007
東北	青森県漁業協同組合連合会	017 (722) 4218
	岩手県漁業担い手育成基金	019 (626) 3063
	宮城県漁業就業者支援協議会	0225 (21) 5740
	秋田県漁業協同組合	018 (845) 1311
	山形県漁業協同組合	0234 (24) 5612
関東	茨城県漁業就業支援協議会	029 (301) 4075
	千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	043 (242) 6858
	東京都漁業協同組合連合会	03 (3458) 4161
	神奈川県漁業協同組合連合会	045 (773) 8877
北陸	新潟県漁業協同組合連合会	025 (243) 3681
	富山県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	076 (441) 6115
	石川県漁業協同組合	076 (234) 8818
	福井県漁業協同組合連合会	0776 (24) 1203
中部	静岡県漁業協同組合連合会	054 (254) 6011
	愛知県漁業協同組合連合会	052 (971) 3501
	三重県漁業協同組合連合会	059 (228) 1205
近畿	大阪府漁業協同組合連合会	072 (422) 4763
	滋賀県漁業協同組合連合会	077 (524) 2418
	京都府漁業協同組合	0773 (77) 2200
	和歌山県漁業協同組合連合会	073 (431) 5101
	兵庫県漁業協同組合連合会	078 (940) 8013
中国	鳥取県漁業協同組合	0857 (28) 0111
	漁業協同組合 JF しまね	0852 (21) 0001
	島根県漁業担い手確保・育成支援協議会	08514 (2) 1832
	広島県新規漁業就業者支援協議会	082 (278) 5588
	山口県漁業協同組合	083 (231) 2212
四国	徳島県漁業協同組合連合会	088 (636) 0513
	香川県漁業協同組合連合会	087 (825) 0351
	えひめ漁業担い手確保促進協議会	089 (933) 5126
	高知県漁業協同組合	088 (854) 3600
九州	福岡県水産団体指導協議会	092 (713) 1162
	佐賀県漁業就業者支援協議会	0955 (58) 8015
	長崎県漁業協同組合連合会	095 (829) 2413
	熊本県漁業協同組合連合会	096 (329) 8800
	大分県漁業協同組合	097 (532) 6611
	宮崎県漁村活性化推進機構	0985 (75) 0022
	鹿児島県漁業協同組合連合会	099 (813) 0026
沖縄県地域漁業担い手確保・育成支援協議会	098 (860) 2600	

●地域の林業について情報を集める

都道府県	都道府県林業労働力確保支援センター等	電話番号
北海道	北海道森林整備担い手支援センター	011 (200) 1381
青森県	青森県林業労働力確保支援センター	017 (732) 5288
岩手県	岩手県林業労働力確保支援センター	019 (653) 0306
宮城県	宮城県林業労働力確保支援センター	022 (217) 4307
秋田県	秋田県林業労働力確保支援センター	018 (864) 0161
山形県	山形県林業労働力確保支援センター	023 (688) 6633
福島県	福島県林業労働力確保支援センター	024 (521) 3270
茨城県	茨城県林業労働力確保支援センター	029 (225) 5949
栃木県	栃木県林業労働力確保支援センター	028 (624) 3710
群馬県	群馬県林業労働力確保支援センター	027 (386) 5901
埼玉県	埼玉県林業労働力確保支援センター	0494 (25) 0291
千葉県	千葉県林業労働力確保支援センター	0438 (60) 1521
東京都	東京都林業労働力確保支援センター	042 (528) 0643
神奈川県	神奈川県森林組合連合会	0463 (88) 3310
新潟県	新潟県林業労働力確保支援センター	025 (285) 7712
富山県	富山県林業労働力確保支援センター	076 (441) 6747
石川県	石川県林業労働力確保支援センター	076 (237) 0121
福井県	福井県森林整備支援センター	0776 (38) 0345
山梨県	山梨県林業労働センター	055 (242) 6667
長野県	長野県林業労働力確保支援センター	026 (225) 6080
岐阜県	岐阜県林業労働力確保支援センター	0575 (33) 4011
静岡県	静岡県林業労働力確保支援センター	054 (255) 4485
愛知県	愛知県林業労働力確保支援センター	052 (953) 3608
三重県	三重県林業労働力確保支援センター	0598 (48) 1227
滋賀県	滋賀県林業労働力確保支援センター	077 (522) 0307
京都府	京都府林業労働力確保支援センター	075 (821) 9277
大阪府	大阪府林業労働力確保支援センター	06 (6538) 7524
兵庫県	兵庫県林業労働力確保支援センター	078 (361) 8010
奈良県	奈良県林業労働力確保支援センター	0742 (24) 2133
和歌山県	わかやま林業労働力確保支援センター	0739 (83) 2022
鳥取県	鳥取県林業労働力確保支援センター	0857 (28) 0123
島根県	島根県林業労働力確保支援センター	0852 (32) 0253
岡山県	岡山県林業労働力確保支援センター	086 (225) 9382
広島県	広島県林業労働力確保支援センター	0826 (72) 7833
山口県	山口県森林整備支援センター	083 (932) 5286
徳島県	徳島県林業労働力確保支援センター	088 (676) 2200
香川県	香川県林業労働力確保支援センター	087 (861) 4353
愛媛県	愛媛県林業労働力確保支援センター	089 (934) 6153
高知県	高知県林業労働力確保支援センター	0887 (57) 0366
福岡県	福岡県林業労働力確保支援センター	092 (712) 1443
佐賀県	佐賀県林業労働力確保支援センター	0952 (25) 7133
長崎県	長崎県林業労働力確保支援センター	0957 (25) 0184
熊本県	熊本県林業労働力確保支援センター	096 (340) 1151
大分県	大分県林業労働力確保支援センター	097 (546) 3009
宮崎県	宮崎県林業労働力確保支援センター	0985 (29) 6008
鹿児島県	鹿児島県林業労働力確保支援センター	0995 (54) 3131
沖縄県	沖縄県林業労働力確保支援センター	098 (987) 1804

おんせん県おおいたで 農業をはじめませんか？



技術習得研修制度が充実！ 相談会に参加し、情報収集を開始しよう！

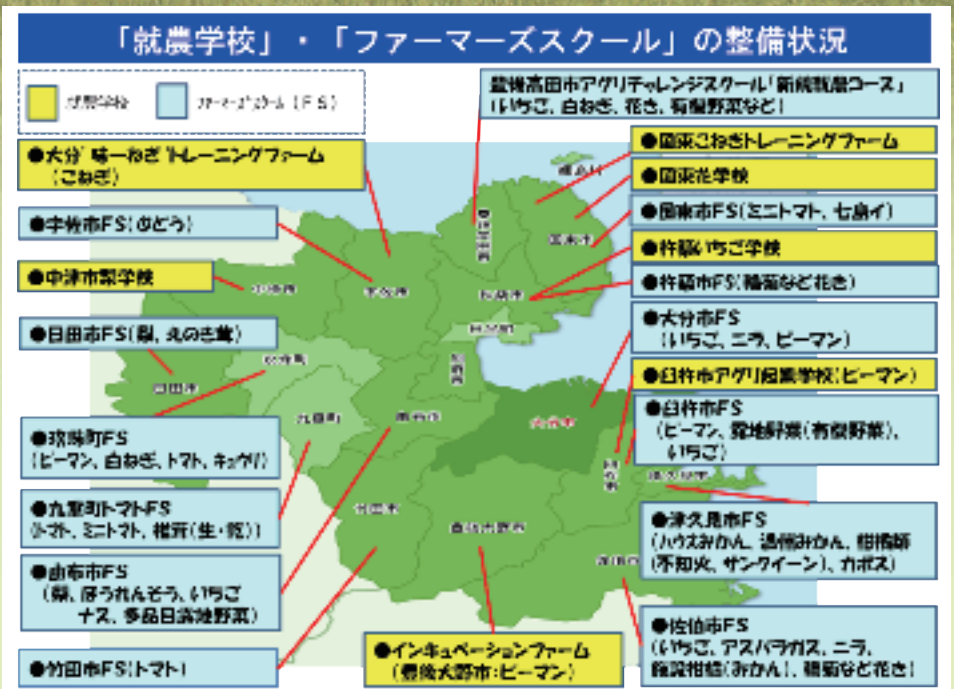
ポイント

就農学校・ ファーマーズスクール

新たに農業を始めようとする方が技術を学び、スムーズに就農できるよう、地域の主要な農産物の研修施設・制度を整備しています。



平成 22 ～ 29 年度までの研修生数
累計で 163 名
※その内県外からの UIJ ターンは 87 名
※既に 97 名が農業を開始！



チェック

【おんせん県おおいた就農応援フェア】今年度の自営就農・雇用就農の相談会日程です

東京会場	7月 22日(日) 12:00～16:00	秋葉原UDX 4F Next-2
大阪会場	8月 5日(日) 12:00～16:00	淀屋橋サンスカイルーム 9階 9B室
大分会場	8月 19日(日) 11:00～16:00	コンパルホール 多目的ホール (就職相談会同時開催！)
東京会場	11月 18日(日) 12:00～16:00	東京交通会館 12階 ダイヤモンドホール
大阪会場	12月 2日(日) 12:00～16:00	淀屋橋サンスカイルーム 9階 9B室

※上記相談会には、県内の農業法人に就職を斡旋する無料職業紹介所も参加します。

問合先

大分県新規就業・経営体支援課
公益社団法人 大分県農業農村振興公社

☎ 097-506-3586
☎ 097-535-0400

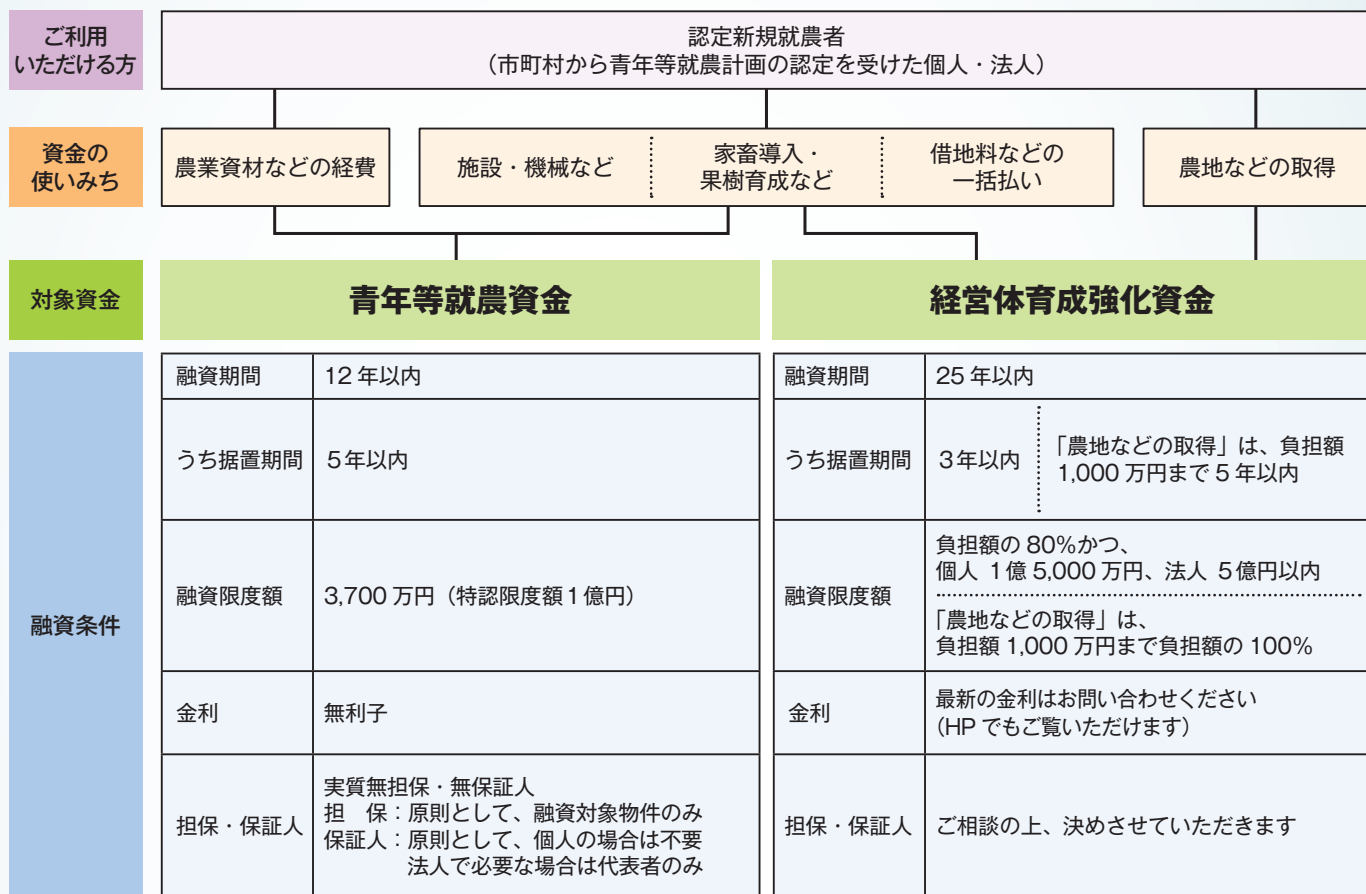


認定新規就農者の皆さまへ

経営の開始を応援します！

日本政策金融公庫（日本公庫）農林水産事業は、新たに農業経営を開始される認定新規就農者が、青年等就農計画を達成するために実施する幅広い事業を青年等就農資金により支援しています。

日本公庫の資金制度の概要



- * 審査の結果により、ご希望に沿えない場合があります。
- * 上記以外にも資金をご利用いただくための要件などがあります。
- * 青年等就農資金は毎年度、国の予算の範囲内で実施される制度のため、ご融資の実行時期によっては、ご希望に沿えない場合があります。

活用事例 ～都会から1ターン就農、ブドウ農家に～

小島 絵奈さん（岡山県美作市）

生まれ育った大阪で、一般企業の事務職員として勤務していた小島さんは、子供のためにも自然の中で仕事と生活がしたいと考え、美作市への移住と就農を決意。農業大学校で、ぶどうの栽培管理技術や経営ノウハウを習得し、2ヶ所の農場を借りてぶどうの生産を開始しました。小島さんは、栽培面積を徐々に拡大してぶどうの収穫量が増加してきたことから、農業機械

等の設備投資を計画。美作市から、青年等就農計画の認定を受け、日本公庫から軽バンや乗用草刈り機、梱包器に必要な資金の借入れを行いました。

今年で就農5年目となる小島さんは、エコファーマーに認定されているほか、週1回大阪で開催されるマルシェにも出店するなど、積極的な経営展開を行っています。



お問い合わせ

詳しくは、以下のフリーダイヤル、または、お近くの公庫支店 農林水産事業に「iju infoを見た」とお気軽にご相談ください。

行こうよ！ 公庫

JFC 日本政策金融公庫 0120-154-505

ホームページのご案内

新規就農に関する融資制度Q&Aや手引きなど、お役立ち情報はこちら

